



市工連かわらばん

第152号
(2015年5月)

一般社団法人 横浜市工業会連合会

横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル2階
〒231-0023
TEL 045 (671) 7051 FAX 045 (671) 7321

市工連ホームページ <http://www.y-shikouren.or.jp>

●「受発注相談コーナー」(相談無料) は、ホームページで。

－ 本号の記事 －

- 1 「平成 27 年度 学校と企業の就職に関する懇談会」開催のお知らせ
- 2 一般社団法人横浜市工業会連合会 平成 27 年度事業計画書
- 3 横浜市中心企業新技術・新製品開発促進事業 (SBIR) の説明会開催及び申請受付開始! (横浜市経済局ものづくり支援課)

①

「平成27年度 学校と企業の就職に関する懇談会」開催のお知らせ 採用内定も年々増加しています (平成26年就職懇談会アンケートによる)

今年も、新規学卒者の求人公開日が近づいてまいりました。そこで、横浜市工業会連合会では、会員企業の皆様と高等学校等の進路指導担当教諭にご参加いただき、就職に関する懇談会を開催いたします。

会員企業の皆様方には、多くの学校関係者と懇談していただけるものと考えておりますので、ぜひご参加下さい。

昨年開催実績	学校	企業	※ 懇談会終了後学校側と接触した 75件、採用内定 38件 (27年2月アンケート実施: 58社中45社から回答)
参加者	18校	58社	

- 1 日 時: 平成27年6月16日 (火) 14:00 ~ 18:00
- 2 会 場: 神奈川県民ホール 大会議室 (神奈川県横浜市中区山下町3-1)
みなとみらい線「日本大通り駅」3番出口より徒歩約6分
JR根岸線「関内駅」南口 横浜市営地下鉄「関内駅」1番出口より 徒歩約15分
- 3 内容 (予定)・企業紹介・学校紹介・個別面談
- 4 参加予定学校 (昨年度実績)
 県立高校: 磯子工業高等学校、磯子工業高等学校 (定時制)、神奈川工業高等学校、神奈川工業高等学校 (定時制)、釜利谷高等学校、川崎工科高等学校、川崎総合科学高等学校、商工高等学校、田奈高等学校、藤沢工科高等学校、向の岡工業高等学校、横須賀工業高等学校、横浜翠嵐高等学校 (定時制)、
 市立高校: 横浜総合高等学校、戸塚高等学校 (定時制)、
 私立高校: 三浦学苑高等学校、
 その他: 産業技術短期大学校、東部総合職業技術校、
- 5 お問合せ: 一般社団法人横浜市工業会連合会 担当 齋藤
TEL: 045-671-7051 FAX: 045-671-7321 メール: soumu4@y-shikouren.or.jp
- 6 お申し込み: 下記連絡表にご記入の上メールまたはFAXでお申込みください。

FAX連絡表 (本表に記載しそのままお送りください) FAX 045-671-7321

企業名			
お名前 (ふりがな)		部署 役職	
電話		FAX	
e-mail			
所在地			

② 一般社団法人横浜市工業会連合会 平成27年度事業計画書

昨年12月末第三次安倍内閣が発足し、引き続きのデフレからの脱却をフレーズにアベノミクスの三つの経済政策により、円安を背景に自動車など輸出型の大規模製造業は好調な収益を上げ内部留保はかつてない金額を計上しており、春闘での賃上げの目玉となりました。また、株価についても、ITバブル以来15年ぶりの高値となり個人所得や雇用環境にも明るさが見られている状況です。

しかしこうした中、中小企業においては電気料金の値上げに加え、燃料費や原材料費の価格上昇が収益を圧迫し、経済効果を十分に実感できないのが実情です。さらに立地環境の悪化等による工場の移転や廃業、取引先企業の国内外への移転、後継者や人材不足等の課題を抱えております。一方で絶望的であった新興国との賃金差が縮小し始めアメリカなどは生産現場の国内回帰が始まりつつあり、我国にもその兆しが見え始めております。

世界に冠たる日本のものづくりの製品は国内外で賞賛され、自動車産業をはじめ医療産業から宇宙産業までその製品の付加価値は中小企業が生み出しております。厳しい世界情勢を分析しつつ常にイノベーションを意識し、今まで以上の創意工夫で乗り切りたいところです。

製造業を中心とした中小企業の団体である、横浜市工業会連合会は、設立時の「産業振興への寄与」の使命を深く認識し、中小企業の経営にしっかりと寄り添い、支える団体を目指してまいります。当連合会は、基本的に地域工業会の代表者の方々と構成する各委員会で議論し検討した結果に基づき事業を進めております。具体的には、インターネット等を活用した情報交流の促進により、日常的に地域工業会や関係団体との緊密な連携を図るとともに、引き続き中小企業支援策等の政策立案を横浜市とともに行うほか、適宜政府、関係機関への政策要望も行います。

今年度は会員の交流と研鑽のためにセミナー開催を検討し、人材育成、受発注機会の創出拡大等に引き続き努めてまいります。

I ものづくり活性化事業 【17,316千円】

1 受発注商談支援事業 (4,280千円)

企業の受発注情報の整備・充実を図り、ビジネスチャンスにつなげます。

また、企業情報を有効に活用し、市内中小製造業者と大手・中堅企業との企業間ネットワークや他都市等との連携を図ります。

(1) 受発注相談(横浜市補助事業)

市工連のホームページや電話等により、専門のアドバイザーによる受発注に関する相談に応じ、情報提供や発注案件の紹介を行うなど、会員企業を中心としたネットワークの拡大を促進します。

(2) 商談会等の開催(横浜市補助事業)

工業会会員企業の新事業展開や新製品開発、取引機会の拡大を図るため、(公財)神奈川産業振興センター、(公財)川崎市産業振興財団と共催し、受発注商談会を開催します。

① 受発注商談会 川崎会場 平成27年9月17日(木)

② 受発注商談会 横浜会場 平成28年2月3日(水)

(3) 横浜ネットワークプラス(受発注情報システム)の運営(横浜市補助事業)

ネットワークプラスを活用した発注案件に対する企業紹介を行う等、企業のビジネスチャンスの拡大を図ります。

※ ネットワークプラス

市工連ホームページを活用し、事業内容・製造能力・技術等に関する登録会員企業のPRに加え、発注企業や研究機関等が、登録企業について、業種別・加工種別・キーワード別に検索・閲覧できるシステム。

2 テクニカルショウヨコハマ(横浜市負担事業) 【7,050千円】

新製品・新技術等を一堂に展示して、技術の向上とビジネスチャンスの拡大を図るため、(公財)神奈川産業振興センター、神奈川県、横浜市との共催により、神奈川県内最大の工業技術見本市「テクニカルショウヨコハマ2016」を開催します。

開催日 平成28年2月3日(水)～5日(金)

会場 パシフィコ横浜 展示ホール・アネックスホール

3 ものづくり人材育成支援事業 【6,441千円】

明日のものづくり産業の担い手となる人材の育成及び確保のため、学校と企業との交流を図る事業のほか、高校生を対象としたものづくり現場の魅力を伝えていく事業を実施します。また、研修会の開催や、情報交換・交流の場の提供などにより、工業会会員企業の経営力や技術力の向上を図ります。

(1) 新入社員合同研修

「帆船日本丸」での甲板みがき、登檣、結索、漕艇等の訓練を取り入れた合同研修により、チャレンジ精神や協調性、連帯感などを新入社員が体験することを通して、企業の将来を託せる人材の育成を図ります。

研修日程 平成27年4月9日(木)～10日(金)

研修会場 帆船日本丸、及び同訓練センター

(2) 就職に関する懇談会等の開催(横浜市補助事業)

工業系高等学校、総合高校等の関係者と企業の採用担当者等とを対象に、企業の採用情報や高校生等の就職状況・情報を交換する懇談会を開催します。

今年度からは公共職業安定所との共同開催で内容の充実に努めます。

日 時 平成27年6月16日(火) 14:00～

会 場 神奈川県民ホール大会議室

(3) ものづくりの魅力を伝える事業(横浜市補助事業)

① 出前講座の開催

経営者や、技術者が学校に出向き中小企業の概略や重要性を話し、中小企業についての理解を深め、魅力を伝えます。

② 工場見学会の開催

中小製造業に対する理解を深め、人材の確保と後継者確保を図るため、就職指導教員と高校生や職業訓練生等を対象に、横浜市との連携のもとに市内企業の工場見学会を開催します。

③ ものづくり企業紹介フェア(テクニカルショウヨコハマの見学会)

高校生を対象にものづくり現場の魅力を伝えるため、ものづくり企業についての研修会及びテクニカルショウ見学会を実施します。

II 産業振興施設の管理運営

1 鳥浜・試作型貸スペース(T³)事業

【8,940千円】

(1) 昨年度に引き続き、鳥浜トライ&トライアルステージの運営を実施し、新技術・新製品の開発や新規事業分野への参入を図る中小製造業を支援します。

(2) 施設の全室利用に伴い、施設の維持管理に努めます。

・所在地:横浜市金沢区鳥浜町16-6

・施設内容:試作用賃貸スペース 約80㎡～約120㎡ 全5区画

(付属事務室 約25㎡～約28㎡) (現在:全5区画入居)

2 横浜産貿ホール マリネリアの管理・運営事業

【76,020千円】

(1) 横浜産貿ホール マリネリアの管理・運営を行い、産業と貿易に関する見本市、展示会など、関連分野の企業・団体等に開催の場を提供し、神奈川県・横浜市内の産業の発展に寄与します。

・所在地:横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル1・2F

・施設:展示場(1F 1,630㎡)、小展示室(2F 70㎡)

(2) 施設維持管理については、横浜市・及び神奈川県の負担も受けて利用環境の維持のため必要な改修を行います。

III 市工連及びの取り組み

【6,168千円】

地域工業会との密接な連携をもとに、工業団体としての力を結集して中小企業の振興を図るため、委員会による事業運営を推進し、ホームページなどの活用を通じた情報の交流を推進します。

1 委員会による事業推進

各委員会で分野別にテーマを設定し、専門的検討を行った上で事業を推進するとともに、地域工業会会員が危機意識を共有し、活動に参加できる環境の整備に努めます。

[各委員会での主な検討テーマ]

① 総務委員会

ア. 市工連の運営

② 政策委員会

ア. 横浜市との中小企業支援施策の立案検討会の設置

イ. 地域工業会要望の検討・作成

ウ. 時宜に応じた政策要望への対応

※ 施策検討プロジェクトの設置

委員会のもとに横浜市職員と市工連代表によるプロジェクトを設置し具体的な施策について検討素案を策定します。

③ 事業企画委員会

ア. 会員企業へのメリットの高い経営上の情報を支援事業として提供します。

イ. 会員企業における「すぐれたアイディア」の応募を促し審査・顕彰します。

ウ. 会員企業の交流活発化

・他都市工業団体との交流及び共同事業の開催

・セミナーの開催及び会員間の交流の拡大、また他団体との連携

④ 広報産学委員会

ア. 企業への情報ネットワークの構築

イ. 広報紙、ホームページ、メルマガ及び受発注ネットワークの内容の充実及び会員企業PRの一層の拡大

⑤ 雇用環境委員会

ア. 中小企業への人材供給と人材育成

イ. 中小企業の環境問題及び省エネ対策の取り組み支援

ウ. 求人企業情報の周知の検討

2 情報発信事業 (1,026千円)

(1) インターネットを活用した情報提供

ホームページ、メールマガジン等を活用した効果的な情報の提供を進めます。

(2) 機関誌の発行

ホームページなどインターネットによる情報に加え、市工連の機関誌「よこはま市工連」、各種事業の案内情報紙「市工連かわらばん」を地域工業会との連携のもとに発行します。

① 機関誌「よこはま市工連」 年2回発行

② 情報紙「市工連かわらばん」 年6回発行

3 すぐれたアイデア表彰 (140千円)

工業会会員企業における、技術開発、生産性の向上、経費節減等において「すぐれたアイデア」を提案し、企業の発展に貢献した従業員を顕彰します。

また、事業企画委員会等を通して応募提案の増加を図ります。

4 会員の交流を深める事業 (2,231千円)

(1) ボウリング大会の開催や、「横浜市工業厚生年金基金」、「災害共済」、「労災保険」、等工業会会員企業や従事者を対象とした各種福利厚生事業の充実を図ります。

また、社会的課題ともなっている環境問題、雇用問題に取り組むほか、製造物責任法による企業の賠償責任に対応するため、引き続き市工連独自のPL保険の加入促進を図ります。

(2) 地域工業会及び横浜青年経営者会の活動支援

地域工業会の運営と横浜青年経営者会の活動を支援します。

IV 法人運営

総会・理事会の開催ほか、団体運営の活動を行います。

【10,672千円】

③

横浜市中小企業新技術・新製品開発促進事業 (SBIR) の 説明会開催及び申請受付開始!

(横浜市経済局ものづくり支援課)

横浜市では市内中小企業が積極的に新技術・新製品開発に取り組めるように、研究開発経費への助成や、優れた商品・技術の販路開拓に向けた支援を行っています。

まもなく平成27年度「中小企業新技術・新製品開発促進助成金」[販路開拓支援事業]の申請受付を同時に開始します。

また、事業説明会を開催いたしますので、新技術・新製品の研究開発等をご計画の方、販路開拓をお考えの方は、是非ご参加ください。

1 事前相談実施期間 5月15日(金)～6月12日(金)午後5時まで

※ご申請前に必ず事前相談(予約制)を受けてください

2 申請書提出期限 6月19日(金)午後5時まで <時間厳守>

3 事業説明会 ※各回同一内容です

日時：平成27年5月21日(木) 15:00～16:00

平成27年5月21日(木) 18:00～19:00

平成27年5月22日(金) 11:00～12:00

平成27年5月22日(金) 15:00～16:00

会場：横浜情報文化センター7階大会議室

詳しくはこちらまで

☆横浜市中小企業新技術・新製品開発促進事業(SBIR)ホームページ

⇒ <http://www.city.yokohama.lg.jp/keizai/shien/sbir/>

横浜市経済局ものづくり支援課 SBIR担当

Tel 045-671-2567 FAX 045-664-4867

E-mail ke-sbir@city.yokohama.jp